

OTOYOGAKUEN

# 教育委員会だより



## シートベルト講習会

本山警察署とJAFの皆さまにご協力いただき、９月2日にシートベルト講習会を実施しました。

今回は、シートベルトを正しく着用することの大切さや交通事故の際に体にかかる衝撃について学ぶ「講習」と、シートベルト着用時の衝撃を実際に味わう「衝突体験」の2つに分かれて学習しました。

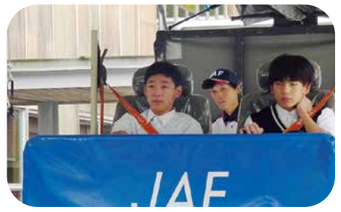
衝突体験の速度は、わずか時速 5㎞。それでも想像以上の衝撃が体にかかり、子どもたちからも驚きの声が上がっていました。私も実際に体験しましたが、「これで時速 5㎞?」と思うほどの衝撃にびっくりしました。実際の道路では時速 50km 程度、高速道路ではさらに速い速度で走行します。「もしシートベルトをしていなかったら」と考えると、ぞっとすると同時に、シートベルトの大切さを改めて実感しました。

「知る」ことと「体験する」ことの両方を通して、自分の命を守るためにシートベルトを着用することの大切さを実感できる貴重な機会となりました。本山警察署、JAF の皆さま、ありがとうございました。









## CIR通信



国際交流員（CIR）の
バツロフ・レイチェルさん

毎年11月15日は「スティーブ・アーウィン・デー」です。この日は、スティーブの人生や彼が大切にしていた「野生動物や自然を守る」という思いについて考える日です。スティーブ・アーウィンは、オーストラリアを代表する人物の一人です。「クロコダイル・ハンター」として世界中で知られたスティーブは、動物園を経営しながら、動物や自然を守る活動もしていました。テレビ番組などを通して、子どもから大人まで多くの人に動物の面白さや、野生動物を守ることの大切さを伝えました。

スティーブは2006年に亡くなりましたが、彼の思いは今も受け継がれています。11月15日が選ばれたのは、スティーブが特に大切にしていたガラパゴスゾウガメ、ハリエットの誕生日だったからです。Australia Zooでは、この日に合わせてさまざまなイベントが行われます。スティーブのトレードマークだったカーキ色の服を着て参加する人もいます。

スティーブと妻のテリーが2002年に作った「Wildlife Warriors（ワイルドライフ・ウォリアーズ）」という団体は今も活動しています。この団体は、オーストラリアだけでなく、世界各地で野生動物を守ったり、生き物が暮らす場所を守ったりしています。スティーブ・アーウィン・デーは、ただ有名なオーストラリア人を記念する日ではありません。スティーブが伝えたかったのは、「動物を好きになることから、自然を守ることが始まる」ということでした。現在のAustralia Zooには、野生動物のための病院があります。けがをしたコアラやカンガルー、カメなど、毎年たくさんの動物が運ばれてきます。日本にいる私たちにとっても、野生動物を守ることは遠い話ではありません。自然の中でごみを持ち帰ること、野生動物を追いかけたり、むやみに触ったりしないこと。そして、身近な動物や自然に少し興味を持つこと。こうした小さな行動も、スティーブが大切にした「人と動物がともに生きる」という考えにつながります。

今年の11月15日は、少しだけオーストラリアに目を向けてみませんか？カーキ色の服を着てみたり、家族や友達と動物のドキュメンタリーを観たりするのもいいでしょう。身近な自然について考えてみることも、「Wildlife Warrior」への一歩になるかもしれません。





# ペアレント・プログラム（子育て講座）開催

子育ての中で、困ったことはありませんか？

子どもがなぜそんな行動になるのか…
困っているのに、どうかかわったらいいのか…
子育てって難しいことが多いと思います。
ペアレント・プログラム（子育て講座）は、

**①行動で考える**
**②ほめて対応する**
（叱って対応するのではなく…）
**③保護者が仲間を見つける**

という3点セットです。
保護者のペアワーク、グループワークを行い、子育てに前向きになってもらえる場所として、令和７年度より大杉保育所で行っている事業です。



### 今年度の日程

①11月 5日（木）
②11月19日（木）
③12月 3日（木）
④12月18日（金）
⑤ 1月13日（水）
⑥ 1月27日（水）
時間　16：30～18：00

### ペアプロ同窓会

令和８年６月に、昨年度の参加者を対象に「ペアプロ同窓会」を開催しました。
参加者同士で近況や子育てについて語り合い、子どもへの関わり方を振り返りました。
参加者からは、
**「子どもの成長を感じられるようになった」**
**「笑顔で子育てができるようになった」**
**「子どもを叱ることが少なくなりました」**
などの声が聞かれました。



子育てを一人で抱え込まず、語り合いましょう。
小学生の保護者も大歓迎です!

日頃の悩みや思いを気軽に話し合い、楽しく子育てができるように応援していきます。

問い合わせ　大杉保育所　TEL 72-0056

## ☆移住・定住に関する補助金について

大豊町では、人口減少対策の一環として、以下の補助制度を新たに設けましたので、ぜひご活用ください。



### 大豊町移住定住総合支援補助金

●町内の空き家を解体し、新築住宅を建てる際の費用を補助します。
●町内に宅地を購入した方で新築住宅を建てる際の費用を補助します。
●町内にUターンしてきた方が空き家になった実家などを改修する際の費用を補助します。

### 大豊町空き家活用社宅改修事業費補助金

●町内に事業所などを有している方が、従業員を住まわせるために町内の空き家を改修する際の費用を補助します。

問い合わせ　企画創造課　まちづくり班